

わいせつ行為、セクシュアル・ハラスメントに関するアンケート調査の結果について

1 調査の目的

生徒が安全・安心な学校生活を送ることができるよう、教職員からわいせつ行為、セクシュアル・ハラスメントを受けたり、直接見たり、聞いたりしたことがないか生徒にアンケート調査を行い、その結果を受け、教職員による生徒へのわいせつ行為、セクシュアル・ハラスメントの根絶に取り組む。

2 調査方法

(1) 調査対象範囲

- ・ 三重県立高等学校及び特別支援学校（高等部）に在籍する生徒

(2) 調査対象期間

- ・ 三重県立高等学校又は特別支援学校の高等部に入学してからアンケートに回答する日までに発生したもの

(3) 実施方法

- ・ 教職員によるわいせつ行為、セクシュアル・ハラスメントを受けたり、直接見たり、聞いたりしたことがある場合、次の①②のいずれかの方法でアンケートに回答
① パソコン、スマートフォン等のインターネットに接続可能な機器で回答
② アンケート用紙に記入し回答（用紙を家に持ち帰って回答することを基本とする。）

(4) 調査実施期間

- ・ 令和3年9月10日（金）から令和3年10月31日（日）

(5) その他

- ・ アンケートの回答にあたっては、学年、組、席、名前を記入することを原則とするが、空欄のままで回答することも可とする。
- ・ アンケート用紙で回答する場合は、アンケート用紙を封筒等に入れ、封をした状態で生徒が信頼できる先生に提出、または、三重県教育委員会事務局教職員課に郵送にて提出する。

3 調査結果

(1) 集計結果 ※以下、高等学校を「高校」、特別支援学校を「特支」と表記

校種	高校	特支	計
生徒数	36,269	800	37,069
回答数	インターネット	1	22
	用紙	2	7
	計	3	29

(※ 生徒数は、令和3年10月1日現在)

- ・ 回答に生徒名や職員名、教科名、部活動名等の記載がなく、内容が確認できなかった10件を含む。

(2) 学年別回答数

学年	回答数
1年	7
2年	9
3年	8
無回答	5
合計	29

(3) 設問と回答

① わいせつ行為やセクシュアル・ハラスメントを受けた (複数回答可)

選択肢	高校	特支	計
自分自身が被害を受けたことがある	18	1	19
他の生徒が被害を受けたところを見た(聞いた)ことがある	14	0	14
選択なし	0	2	2
計	32	3	35

② 誰から被害を受けたか

選択肢	高校	特支	計
自校の先生	18	2	20
他校の先生	1	0	1
選択なし	7	1	8
計	26	3	29

③ どのような被害を受けたか (複数回答可)

選択肢	高校	特支	計
性的な行為を受けた	0	0	0
必要もないのに体を触られた	8	0	8
性的なからかいや冗談を言われた	3	1	4
携帯電話などに性的な画像やメッセージが送られてきた	0	0	0
「男らしくない」、「女らしくない」などの性別により役割を分担する意識に基づく発言があった	3	0	3
その他	7	2	9
選択なし	7	1	8
計	28	4	32

【聴取の概要】

生徒名や職員名、教科名、部活動名等の記載があった回答について、生徒や関係教職員への聴取を行った。

○「必要もないのに体を触られた」と選択したもの

- ・ 授業中に指示や指導を受ける際、必要もないのに肩に触れられた
- ・ 職員室で相談をした際、励ましながら肩や背中を叩かれた
- ・ 授業中に話しかけられた際、必要もないのに両肩を持たれた
- ・ 授業中に点呼をとる際、必要もないのに肩に触れられた
- ・ 授業中に熱があるか確認する際、額に手を当てられた
- ・ 回答者が特定できず聴取できなかったもの 3件

- 「性的なからかいや冗談を言われた」と選択したもの
 - ・ 授業中に机間巡視の際、机に顔を近づけてきたり、自分だけ毎時間当てられたりした
 - ・ 回答者が特定できず聴取できなかったもの 3件
- 「男らしくない」、「女らしくない」などの性別により役割を分担する意識に基づく発言があった」と選択したもの
 - ・ 回答者が特定できず聴取できなかったもの 3件
- 「その他」と選択したもの
 - ・ 部活動でフォームを確認する際、腕や手をもって指導された
 - ・ 授業中に性的な表現を含む面白くない冗談を聞かされた
 - ・ 問題を解説する際、教室には男女しかいないともとれる発言があった
 - ・ 授業中に名前を呼ぶ際、○○ちゃんと馴れ馴れしく呼ばれた
 - ・ 授業中にわからない問題をずっと当てられた
 - ・ 具体的な言動があったわけではないが、男性教員と2人きりにならないようにしてほしい（保護者からの要望）
 - ・ 回答者が特定できず聴取できなかったもの 3件

④ いつ被害を受けたか（複数回答可）

選択肢	高校	特支	計
授業中	10	1	11
部活動中	4	0	4
放課後	3	0	3
その他	3	0	3
選択なし	7	2	9
計	27	3	30

【その他の内容】

- ・ 休み時間
- ・ ホームルームや掃除の時間
- ・ 1年生のとき

⑤ どのような対応を希望するか

選択肢	高校	特支	合計
学校の先生に相談したい	2	1	3
カウンセラーなどの学校外の人に相談したい	1	0	1
対応する必要はない	8	0	8
その他	6	0	6
選択なし	9	2	11
計	26	3	29

【その他の内容】

- ・ このようなことはやめてほしい 4件
- ・ LGBTQに対する理解を深めて欲しい
- ・ 先生方で共有してほしい

(4) 調査後の対応

- ・ 1月27日、県立学校長会議にて、教職員は指導で行ったつもりでも生徒を不快にさせた言動があったことなど、アンケートの内容について報告を行った。また、生徒が性的に不快感や嫌悪感を抱く教職員の身体接触や言葉がけは、教職員の意図にかかわらず、セクシュアル・ハラスメントに該当することを各校で改めて確認し、生徒への関わり方について見直す機会を設けることとした。
- ・ 学校においては、アンケート結果から、生徒がセクシュアル・ハラスメントととらえた具体事例の共有を行い、自分自身や周囲の教職員の指導についての振り返りを行った。そのうえで、必要のない生徒への身体接触は絶対に行わないことを徹底し、たとえ介助などが必要な場合であっても、生徒本人や保護者の了承を得たうえで必要な内容に限定して行うよう確認した。また、生徒への言葉がけは性的な要素がないか注意して行うことなどを確認した。
- ・ 学校からの報告によると、教職員は、アンケートの具体的な事例から生徒の受け止め方が様々であることを改めて確認し、指導にあたり意識すべきことを確認する良い機会となった。アンケートに回答した生徒からは、学校に思いを伝えられたことで、前向きに学校生活を送れるようになったなどの感想が寄せられたとのことであった。
- ・ このような効果がみられたことから、今回の調査の課題等を検証したうえで来年度以降もアンケート調査を行い、結果の振り返りを継続することにより、わいせつ行為やセクシュアル・ハラスメントのない安全・安心な学校となるよう、引き続き取り組んでいくこととする。